

平成30年9月瀬戸内市教育委員会 会議録

I. 開催日 平成30年9月19日(水)

II. 開会及び閉会
開会 14時30分
閉会 16時08分

III. 出席委員	教 育 長	東 南 信 行
	委 員	淵 本 晴 生
	委 員	片 山 工
	委 員	藤 本 里 絵

IV. 出席職員	教 育 次 長	藪 井 慎 吾
	参 与	嶋 田 学
	総務学務課長	山 本 正 樹
	総務学務課参事	松 本 総
	総務学務課係長	安 井 明 子
	総務学務課主幹	山 本 三 千 代

V. 議事の内容

1. 開 会

2. 教育長報告について

東南教育長

●台風関係について

●行事関係について

- ・学力向上プロジェクト研修会(8/27)
- ・生徒指導担当者連絡協議会・不登校問題対応研修会(8/27)
- ・特別支援教育研修会(8/31)
- ・日本画体験講座(8/25)
- ・夢二プレミアムコンサート バイオリン(8/26)、声楽(9/2)
- ・第8回「学校図書館と子どもたちの学び」(8/28)
- ・夢二関連事業「夢二の世界をギャラリーで」(9/9)

- ・ こんぴらさんの名刀展（9/7～11/25）
- ・ 夢二関連事業「刀剣の里体験イベント」（9/8～9/9）
- ・ 企画展「 - 追悼・鬼才木彫家が遺したもの - 小林陽介遺作展」（9/1～10/21）

● 8月市議会関係について

○ 一般質問

文化課の新設、学校給食調理場の一部業務委託や食育指導、邑久スポーツ公園（子ども広場）の整備、遠距離通学者への補助、児童生徒の安全対策など

○ 総務文教常任委員会

- ・ 学校給食調理場（牛窓、長船）の一部業務委託についての追加説明
- ・ 「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検評価報告書」報告
- ・ 国宝「山鳥毛」里帰りプロジェクトについて説明

○ 補正予算の提案

● 山鳥毛関係について

○ タウンミーティングの開催

長船地区（9/8）、邑久地区（9/9）、牛窓地区（9/9）

○ 県立博物館での国宝「山鳥毛」特別陳列（9/13～10/14）

淵本委員 「里帰り」という言葉を使われるようにしたのはいつ頃からか。

教育長 8月議会の総務文教常任委員会で説明をするのにあたって、生まれた刀が生まれた地へ戻ってくるんだということを、私たちが大切にしながら取り組んでいきたいということから、名前を「里帰り」とさせていただいた。

淵本委員 遠距離通学者への補助について、どのような質問がでたのか。

教育長 遠距離通学をしていく際に、公共交通機関がない方については、保護者が子供達の集合場所まで送っているため、タクシー通学といった形はできないものかと質問があった。

これまで、遠距離通学に関して教育委員会が取り組んできている規定に基づいて、判断させていただいている。例えば、平成29年度は公共交通機関の定期の半額を補助していたのを、平成30年度は全額補助をしているといったことを説明している。

淵本委員 タクシー補助はできるのか。

教育長 瀬戸内市ではしていない。

藪井次長 以前はあった。ただ、その経緯は今は分からないので、そのあたりもいろいろと検討しながらということにはなる。

3. 前回会議録の承認

署名委員 淵本 晴生 委員 片 工 委員

4. 議 事

東南教育長 議事進行

第 49 号議案 臨時職員採用等について

山本課長 (資料を基に説明)

全 委 員 < 異議なし >

第 50 号議案 瀬戸内市立幼稚園園則の一部改正について

山本課長 (資料を基に説明)

全 委 員 < 異議なし >

第 51 号議案 瀬戸内市立図書館条例施行規則の一部改正について

嶋田参与 (資料を基に説明)

全 委 員 < 異議なし >

東南教育長 非公開審議を開始することを宣する。

第 52 号議案 準要保護児童生徒の認定について

< 非公開 >

東南教育長 非公開審議を終了することを宣する。

第 53 号議案 学力・学習状況調査結果について

松本参事 (資料を基に説明)

淵本委員 表紙に実施日と対象者とあるが、欠席した子供はどれくらいいるのか。

松本参事 正確な数は今すぐ申し上げられないが、欠席した児童生徒はいた。これは国と県とで同時に行っていて、もし欠席した児童生徒が、テストを受けたいと言ってきた場合の対応は違って来る。記憶で、病気欠席していたが、次の日に来て受けたいと言って受けた児童はいた。その時のお子さんは、その結果が全国のこの分母には入らないという事も分かった上で、それでも受けてみたいと言って受けたと聞いている。

淵本委員 実施した子供の点が上がったかどうかということが、常に話題になって我々の興味関心になるが、その中で、受けなかった子供がどう感じ

ているのか。プレッシャーになるかもしれない子供がいるのかいないのかということについての心配りは、常に忘れてはいけないことだと思う。

藤本委員 子供は、なぜ受けるのかはあまり詳しく考えていない。今後の授業に役に立つことになるということは、中学生くらいになると分かると思うので、きちんと取り組んでくれるように伝えてもいいのかなと思う。

5. その他

○平成 29 年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について

山本課長 (口頭で説明)

○学校、児童生徒、教員の様子について

松本参事 (2 学期始業式後の様子を報告)

淵本委員 働き方改革をしよう、勤務時間をきちんとして残業をしないようにしようという考えはいいが、あまりそのことに勢力を注ぐとマイナスの部分もでてきはしないか。

松本参事 説明の時に、時間を減らすことが目的ではなく、先生方の心身の健康、心の余裕をいかに生むかが目的だと伝えている。時間で縛り、全部が数字ででてくると、なんとなく違う目的になってしまうので、そこはよく気を付けないといけないと思っている。

片山委員 夏休み中に、子供の事件や事故の報告はなかったのか。

松本参事 特に聞いていない。

6. 閉 会 (16 時 08 分閉会)